【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【公表番号】特表2018-522056(P2018-522056A)
【公表日】平成30年8月9日(2018.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2018-030
【出願番号】特願2018-506196(P2018-506196)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/08　(2019.01)
Ａ６１Ｋ　31/704　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/19　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　7/06　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｋ　38/02
Ａ６１Ｋ　38/08
Ａ６１Ｋ　31/704
Ａ６１Ｋ　31/19
Ｃ０７Ｋ　7/06　ＺＮＡ
Ｃ０７Ｋ　16/28

【手続補正書】
【提出日】令和1年8月1日(2019.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被験体における敗血症若しくは内毒素血症を治療するため、又は被験体における敗血症の発症を低下若しくは抑制するための、製剤を製造するための、Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニスト又はＰａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストの使用。
【請求項２】
前記製剤が、Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストを含む、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記製剤が、Ｐａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストを含む、請求項１に記載の使用。
【請求項４】
被験体における敗血症若しくは内毒素血症を治療するため、又は被験体における敗血症

の発症を低下若しくは抑制するための、製剤を製造するための、Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質発現のインヒビター又はＰａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質発現のインヒビターの使用。
【請求項５】
前記製剤が、Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質発現のインヒビターを含む、請求項４に記載の使用。
【請求項６】
前記製剤が、Ｐａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質発現のインヒビターを含む、請求項４に記載の使用。
【請求項７】
前記Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストは、ペプチドアンタゴニストである、請求項１又は２に記載の使用。
【請求項８】
前記Ｐａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストは、ペプチドアンタゴニストである、請求項１又は３に記載の使用。
【請求項９】
前記ペプチドアンタゴニストは、Ｃｘ４３ヘミチャネルの細胞外ドメインの配列を有するペプチドである、請求項７に記載の使用。
【請求項１０】
前記Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストは、配列ＥＮＶＣＹＤ（配列番号１）又はＮＶＣＹＤＫ（配列番号２）を有するペプチドを含む、請求項１又は２に記載の使用。
【請求項１１】
前記ペプチドアンタゴニストは、Ｇａｐ２６又はＧａｐ２７である保護性ペプチドアンタゴニストと重複している、請求項９に記載の使用。
【請求項１２】
前記ペプチドアンタゴニストは、Ｇａｐ２６又はＧａｐ２７である保護性ペプチドアンタゴニストと重複していない、請求項９に記載の使用。
【請求項１３】
前記Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニスト又は前記Ｐａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストが、カルベノキソロン、グリチルリチン酸、グリチルレチン酸又はグリチルリチン酸モノアンモニウムを含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１４】
前記Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質発現のインヒビター又は前記Ｐａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質発現のインヒビターが、カルベノキソロン、グリチルリチン酸、グリチルレチン酸又はグリチルリチン酸モノアンモニウムを含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１５】
カルベノキソロン、グリチルリチン酸、グリチルレチン酸又はグリチルリチン酸モノアンモニウムは、植物性物質を含まない、請求項１３又は１４に記載の使用。
【請求項１６】
カルベノキソロン、グリチルリチン酸、グリチルレチン酸又はグリチルリチン酸モノアンモニウムは、それぞれ合成により製造されたカルベノキソロン、グリチルリチン酸、グリチルレチン酸又はグリチルリチン酸モノアンモニウムである、請求項１３～１５のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１７】
前記Ｐａｎｘ１ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストは、抗Ｐａｎｘ１モノクローナル抗体である、請求項１又は２に記載の使用。
【請求項１８】

前記Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストは、抗Ｃｘ４３モノクローナル抗体である、請求項１又は３に記載の使用。
【請求項１９】
被験体における虚血－再潅流障害を治療するため、又は被験体における虚血－再潅流障害の発症を低下若しくは抑制するための、製剤を製造するための、Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストの使用。
【請求項２０】
前記Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストは、ペプチドアンタゴニストである、請求項１９に記載の使用。
【請求項２１】
前記ペプチドアンタゴニストは、Ｃｘ４３ヘミチャネルの細胞外ドメインの配列を有するペプチドである、請求項２０に記載の使用。
【請求項２２】
前記Ｃｘ４３ヘミチャネルタンパク質のアンタゴニストは、配列ＥＮＶＣＹＤ（配列番号１）又はＮＶＣＹＤＫ（配列番号２）を有するペプチドを含む、請求項１９～２１のいずれか一項に記載の使用。
【請求項２３】
前記ペプチドアンタゴニストは、Ｇａｐ２６又はＧａｐ２７である保護性ペプチドアンタゴニストと重複している、請求項２０に記載の使用。
【請求項２４】
前記ペプチドアンタゴニストは、Ｇａｐ２６又はＧａｐ２７である保護性ペプチドアンタゴニストと重複していない、請求項２０に記載の使用。
【請求項２５】
前記虚血－再潅流障害は、肝虚血－再潅流障害である、請求項１９～２４のいずれか一項に記載の使用。